



# 日本医療マネジメント学会 News Letter

第30号

2008年3月1日発行

発行 日本医療マネジメント学会事務局

〒862-0901 熊本市東町4-11-1

国際保健医療交流センター内

TEL 096-360-9099 FAX 096-367-9001

E-mail kensyu@silver.ocn.ne.jp

URL <http://jhm.umin.jp/index.html>

## 第10回 日本医療マネジメント学会学術総会開催のお知らせ (第3報)

安全・安心・信頼の医療 ～未来につづく地域医療連携～



第10回 日本医療マネジメント学会  
学術総会会長 稲垣 春夫  
(トヨタ記念病院 病院長)

第10回日本医療マネジメント学会学術総会は招待講演、シンポジウム等も固まり、一般演題、ポスターの選別に入って関係者一丸となって準備を進めておりますので、会員の皆様には一層のご支援のほどお願い申し上げます。表題のテーマは、国民に信頼される新しい医療の提供体制を構築するためには、地域における医療連携の推進が不可欠であるとの考えから提唱させていただきました。

この4月に行われる医療費改定は病院医療の崩壊を食い止めることに主眼を置くとされながら、その実効性にはすでに疑問の声が上がっています。また、昨年改正された医療法のもと、4疾病5事業を掲げた新たな地域医療計画の施行、特定健診、後期高齢者医療保険の新設、保険者の統合等々、これまでになかった医療の仕組みが開始されようとしています。しかしながら、それらの変化に対応すべき医療の現場はと言えば、医師、看護師の偏在あるいは絶対数の不足によって疲弊をきたし、医療崩壊なる言葉さえ現実のものになりつつあります。今、医療に携わるすべての人たちが、手に手を取り合ってお互いの抱える問題の解決策を考えることこそが、このような閉塞状態から抜け出るための一助となると考えます。本学会が取り扱うクリティカルパスを中心とした医療安全、院内感染対策、臨床指標、地域医療連携、患者満足度向上、人材育成、医療経営等の医療行為全般にかかわる諸問題を会員の皆様が名古屋に持ち寄り、さらに得られた成果を一人でも多くの方がご自分の現場に持ち帰っていただくことでわが国の医療の質改善の一助となることを期待して止みません。

さらに、本学術総会のために用意された招待講演には、医療の世界から消えてしまいがちな笑いの効用を説く柏木先生の「ホスピスケアとユーモア」、トヨタの物づくりを支えてきた林技監の「トヨタ生産方式の本質と進

化(深化)」、トヨタ自動車次世代ビジネスのトップに位置づけるパートナーロボット部の高木理事による「将来の介護・医療を考えたパートナーロボットの開発」と題する講演と医療、介護用ロボットの实物展示等々魅力的な演題をそろえました。もちろん、シンポジウム、パネルディスカッション等にも最新かつ重要な演題が揃っています。会員の皆様に、6月20、21日の両日、名古屋でお会い出来ることをスタッフ一同楽しみにしております。

テーマ：安全・安心・信頼の医療

～未来につづく地域医療連携～

会 期：2008年6月20日(金)・21日(土)

会 場：名古屋国際会議場

(〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区  
熱田西町1-1 TEL:052-683-7711)

後 援：愛知県医師会/愛知県病院協会/  
愛知県看護協会/愛知県病院薬剤師会

事前参加登録受付期間：2008年1月7日(木)

～5月1日(木)※当日消印有効

演題登録：演題登録は締切ました。多数のご応募ありがとうございました。

事務局：トヨタ記念病院

〒471-8513 愛知県豊田市平和町1-1  
E-mail: ya-tmh@mail.toyota.co.jp

運営事務局：株式会社ジェイコム コンベンション事業本部内

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22  
ハービスENT11階  
TEL:06-6348-1391(代)  
FAX:06-6456-4105  
E-mail: 10jhm@jtbc.com.co.jp

第10回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ  
<http://10jhm.jtbc.com.co.jp>